

芝生に散布する



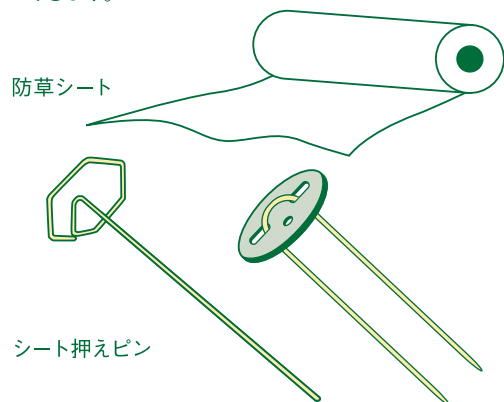
★シバキープ粒剤……主に根から吸収されて雑草を枯らしめます。スギナやヒメクグ等の発生初期に散布すると効果がありますが、イネ科の植物には効きません。またコウライシバに比べてノシバには薬害があるので、少なめに散布してください。3ヵ月程度、雑草の発生を防ぎます。

★MCP液剤、シバキープAL…ホルモン型吸収移行性で、イネ科雑草よりチドメグサ、ジシバリ、セイヨウタンポポ、ハルジオン、ヨメナ、ニガナ、カタバミ等の広葉雑草に有効ですが、芝の芽の出始めの時期は使用しないようにしましょう。また散布すると芝が黄変する場合がありますが、1～2週間で回復します。



防草シートとの併用が効果的

粒状除草剤と防草シートを併用することで、雑草の発生を長期間防ぐことができます。



ここがポイント!

展着剤を混ぜると効果アップ

せっかく薬品を散布しても、すぐに雨がふるとその薬品が流されてしまって効果がなくなってしまいます。そのため展着剤は、薬品が植物の葉に少しでも長くついているようにするためにできた薬品で、除草剤を散布するときに一定量の展着剤を混合して散布すると、効率がよくなります。

除草剤を使わない除草法

雑草用の焼却機で直接焼いてしまうという手もあります。これは庭や住まいの近辺で行うのは危険なので、駐車場や空き地の除草に使ってください。また、庭や花壇などのあまり除草剤を使いたくない場所には、防草シートを敷きましょう。防草シートは光を透さないで空気や水分だけを透すシートで、雑草の光合成をなくすので、自然と枯れてしまいます。防草シートは何度も使えます。雑草を防ぎたい場所の形に切って、ところどころに重しをおいて飛ばないように敷くだけです。鉢物にも、防草シートをお好きな形に切って使えるので、除草剤無しで雑草を防ぐことができます。

商品名称や外観はメーカーの都合により変更になる場合がございます。

サービスのご案内

●下記クレジットカードがご利用できます

配送	切り売り商品	修理	
返品・交換	表札・額の受注	スベアキーづくり	☐はギフト券もご利用いただけます

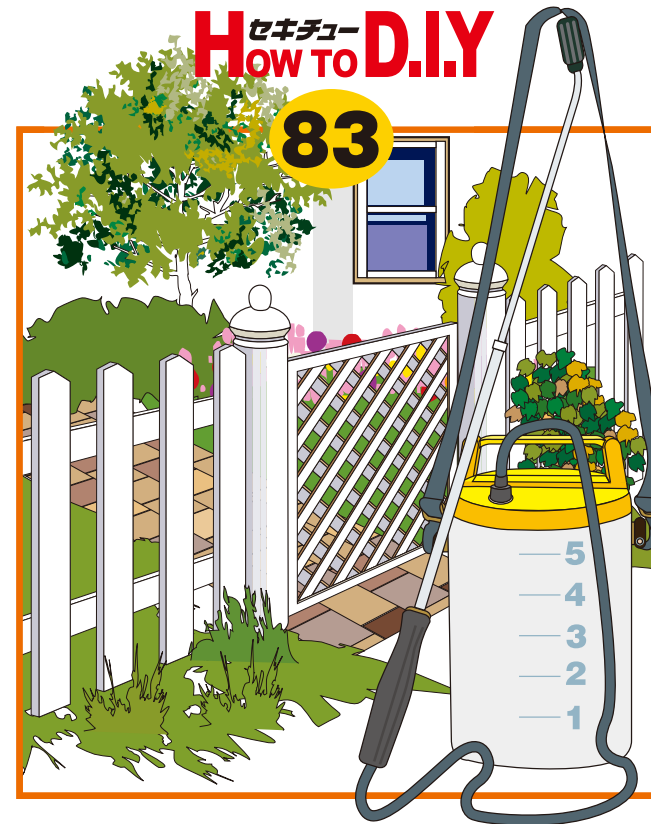


制作発行/株式会社セキチュー 販売促進課
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

雑草退治

自分でやってみよう!



春になると、樹々の若葉と一緒に雑草もはびこってきます。まだ出たばかりと油断しているとみるみる大きくなっていきます。特に夏場はほんの2、3日放っておくだけで、びっくりするほど大きくなってしまいます。雑草退治も基本の知識と、早めの対策が肝心です。雑草の種類、生えてくる場所等の違いで除草する方法も違いますので、ここで覚えてください。

除草剤の種類と分類

1 場所に応じた散布方法

花壇や菜園

家庭菜園や花壇では狭い土地の中にいろいろな種類の植物が栽培されているので、除草剤を散布するのは考えものです。この場合は手でコソコソと抜くしか方法がありません。

庭木や果樹の周辺

ラウンドアップやバスタ等、直接かかった雑草だけを枯らし、土壌に残効しない液剤タイプが向いています。



住まいの周辺や空き地、駐車場、墓地など

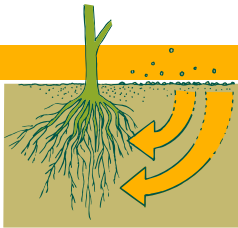
長期間(3~6ヶ月)雑草の発生を抑えたいければ、ネコソギ粒剤等の粒タイプの除草剤、素早く枯らしたければ、バスタ、ラウンドアップ等の液体の除草剤があります。



2 除草剤の種類

①粒状タイプ

主に雑草の根から除草成分が吸収されて効果が出るタイプで、雨が降った後の土壌が湿っているときに散布するとさらに効果があります。



土壌が乾いているときに散布する場合は、十分に散水してから散布するようにしましょう。枯れはじめは遅いですが、残効性に優れ長期間雑草の発生を防ぎます。

★ネコソギ粒剤……3種類の異なる成分が配合されていて、多種類の雑草に効果が出るようにした除草剤で、3~6ヶ月間効果があります。

★ハイバーX粒剤……非ホルモン型の雑草の発生を抑え、生育している雑草も枯らす除草剤で、一年草のツユクサ、エノコログサ、メヒシバ、多年草のヨモギ等の発生しはじめや生育中に散布すると効果があります。



②液体タイプ(希釈タイプ)



茎と葉から吸収され、枯れはじめの早いタイプです。原液を希釈して、じょうろや噴霧器で散布します。

★バスタ液剤……一年草の雑草には散布してから2~5日、多年草には10日~2週間で効果が出てきます。特に地上部を早く枯らせる除草剤で、抑草効果も40~50日あります。土壌では分解されてしまうので、散布の翌日に作物を植えても影響が少ないので安心です。

★ラウンドアップ(グリホサート剤)……薬剤が浸透移行し、根まで枯らす除草剤です。一年草の雑草は散布後3~5日から枯れはじめ、完全に枯れるのは春草で10~15日、夏草では15~20日かかります。多年草の場合は、散布後7~14日後から枯れはじめ、ススキ、イタドリ、ササ等は2~3ヶ月からそれ以上かかりますが、地下部まで枯れます。

③液体タイプ(ALタイプ)

希釈する除草剤を、あらかじめ散布濃度に薄め、そのまま撒ける液体除草剤です。

★ネコソギAL、ラウンドアップAL(グリホサート剤)……一般的なタイプです。効き方は希釈タイプと同様です。

★その他……スプレータイプや2種以上の薬剤が混合されたものもあり、粒状タイプと液体タイプの特徴を兼ね備えるものもあります。



主な雑草

